

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 きりん 組	5 月 12 日 (月)	近藤

● 実施計画

活動テーマ		環境設定 ・ 準備物
サイエンス ～天気～ くもと雨についてしろう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
日々の当番活動でその日の天気を発表する際に窓の外の様子を見て〇〇と天気を判断することはできる。晴れていると散歩に行けそうなど天気を見て楽しみにすることや今日は朝雨で濡れた、など話題になることがある。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00～10:05	<ul style="list-style-type: none"> ・4月にどんな天気の日公園に行ったか振り返る。 ・「公園に行った日はどんな天気だったか覚えている?」「公園に行って遊ぶことが出来る日はどんな天気?出来ない日はどんな天気?」「どんな天気があるのかな?」等と問いかけをして振り返りや発言がしやすいよう工夫する。 ・くもりと雨について考えていく。雲はどのように表れるのか?どのように出来るのかを子どもたちに聞く。 ・意見はホワイトボードにまとめる。 ・「雲はどこからくるのかな?」「雲は何でできているのかな?」「雲はどんな形がある?どんな色がある?」「雨はどこからくるのかな?」「雨は何でできているのかな?」と問いかけ、イメージしやすいように声をかける。 	【環境設定】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 室内で写真や図を見ながら話し合えるスペースを確保する。 ・ 室内で実験が安全に行えるスペースを確保する。 【準備物】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気ポット ・ 透明のビニール袋 ・ 雲の写真集 ・ 雲・雨・雪の発生原理の図 ・ ホワイトボード ・ ホワイトボードマーカー ・ 写真や図を掲示するためのマグネットなど
10:05～10:15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真や図を使ってさまざまな雲の形を観察。 	■参考資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雲の写真集 (巻雲、巻層雲、巻積雲、乱層雲、高層雲、高積雲、積乱雲、積雲、層雲、層積雲、穴あき雲、レンズ雲、スーパーセル等)
10:15～10:35	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考えたことをホワイトボードにまとめる。 ・ 高さによって雲の形が異なること、雲が水蒸気からできていることを図や写真を見ながら伝える。 ・ 保育者は、子どもたちの意見を引き出したり、形状と重さについて気づけるような問いかけを工夫する。 ・ 電気ポットとビニール袋を使った実験を 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雲・雨・雪の発生原理の図 【事前準備】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気ポットとビニール袋を使った実験を予め検証しておく。 【実験】 <ul style="list-style-type: none"> ①電気ポットの中にお湯を沸かす。

10:35～10:40

することを伝える。

- ・開始する前に電気ポットから出る湯気はとて熱いことを伝え、観察する際の約束を話し合い決める。
- ・実験はどのようになるかをグループで予測を話し合う。
- ・話し合ったことをホワイトボードにまとめる。
- ・電気ポットから出る湯気はとて熱いことを伝え、観察する際の約束を話し合い決める。
- ・電気ポットとビニール袋を使った実験を行い、雲と雨の発生の仕組みを観察する。
- ・「今日、気づいたことや、感じたこと、思ったことは何か？」と問いかけ、自分なりの気づきや感想を言葉にする機会をつくる。
- ・雲・雨・雪の発生原理の図をみんなで再度見て、雲は水蒸気（湯気）が上に上がり、ある程度集まって、粒が大きくなり、空から落ちて雨になるということを確認する。
- ・「空から降るものは雨だけかな？」と問いかける。

②お湯が湧いたら、電気ポットの蓋を開け、湯気を放出する。

③湯気が上がっている上に透明のビニール袋を広げ、湯気を受け止める。

③ビニール袋の口を閉じ、中の湯気を観察する。

④時間が経ち、湯気が水の粒になったら、ビニール袋の口を開け水滴を落とす。

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・本活動では、雲の仕組みや特徴、雨ができる仕組みについて、写真や図を使った観察を通じて学んだ。 ・導入では、天気についての話を広げ、子どもたちの知識や疑問を引き出した。その後、さまざまな雲の写真を見ながら違いを考えようとしたが、興味の低下が全体的に見られたため実験に移っていった。 ・電気ポットとビニール袋を使った実験では、雲と雨の発生についてより実感をもって学ぶことができた。 	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「この雲、ふわふわしてるね!」、「こっちは細長いね!」、「〇〇だって!」など形状や名前に関する気づきが見られることが多かった。 ・実験では、「ほんとだ湿っている!」と驚きの声が上がった。 <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結論を急がず、考えるプロセスを大切にした。 ・実験時は安全に配慮しながら、子どもたちが自ら試せるようにサポートした。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
----------	--------------

- ・予想を立てることが難しい子もいたが、子どもたち同士で意見を共有することで考えを深められた。
- ・雲の写真を見比べることで、子どもたちが違いに気づき、興味をもちやすかったが、知っているような認知度の高い雲の写真があるとより良かった。
- ・結果を見てすぐに納得するのではなく、「どうしてだろう？」と考え続ける時間をもっと作りたいが、興味関心の差によって飽きがきてしまう時間も差があるため、様子を見て臨機応変に進行していく。
- ・園にあった袋で実験時には代用したことや気温もあり湯気の様子は観測しづらかったため、冷めてから袋の中に手を入れることで湿った感じ、濡れて水になった感じを体験することで本当に水なんだという発見に繋げていった。

- ・日常の中で、雲いの形を意識してみようという経験がなかった子どもたちに、新しい興味の入り口ができたのだと感じます。
- ・亨先生の気づきにも書かれていますが、あ！見たことあるという雲の写真を用意するのもよいですね。
- ・代用した袋での湯気の観測が難しかったとのことでしたが、濡れた感じや湿った感じを体験することで、曇って水からできているんだなという、子どもたちの感覚で受け取れたことがよくわかりました。

雲から雨という風に形は変化することも面白いので、雨の日の過ごし方が変わりそうですね。

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 きりん 組	7 月 23 日 (水)	近藤

● 実施計画

活動テーマ

たべもの ~水~
水ってなに？

活動テーマに関する 日頃の興味関心について

水遊びは全員楽しんでいる。水道などで手を洗う際に水の流れを注視していることもある。

活動スケジュール

環境設定 ・ 準備物

時間	内容	環境設定 ・ 準備物
10:00~10:10	・水とは何かを問いかける。	【環境設定】 ・安全に探究できるよう環境を設定する。 ・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。 ・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切に 切にする。 【活動使用教材】 ・水 ・絵の具(水色) ・透明のプラスチックコップ ・さまざまな形の容器 (皿、コップ、袋など) ・スロープ ・電気ポット ・氷 ・ホワイトボード ・ホワイトボードマーカー
10:10~10:30	・子どもたちの意見をホワイトボードにまとめる。 ・水を水槽やコップに入れて観察してみる。 ・さまざまな形の容器に水を入れて、形の変化を探究 してみる。 ・水の流れを探究してみる。 ・温度で水がどのように変化するかを調べてみる。	
10:30~10:40	・探検での発見や感想を発表する。発表の内容をホ ワイトボードにまとめていく。 ・水の性質について確認する。	
		【事前準備】 ・水を扱う活動になるため、水で濡れる点に注意し、 転倒などの事故を防ぐよう環境を設定しておく。 ・牛乳パックやペットボトルなどで傾斜のあるコース (スロープ)を用意しておく。子どもたちと作成して も良い。 ※切り口でけがをしないよう配慮する。 ・氷を作っておく。子どもたちと一緒に作っても良 い。 ・探究活動で使用する用具の使用方法を設定してお く。

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・導入では、水はどのようなものか考え、「手を洗うときに使う」「雨」「つめたい」など、日常生活からくるもの、感覚や印象から水について考える発言していた。</p> <p>・水について、色、形、においや流れ、状態変化など体験を通じて探究を深めた。</p> <p>・振り返りでは、気づきや調べた内容を共有し合った。</p>	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「水色って水の色とは違う。」 ・「水って形ない！」 <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが出した意見を認めていくことで他の子どもも思いついたものを意見しやすくなっていた。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・子どもたちは、普段当たり前に触れている水にも強い関心を持っていることに改めて気づいた。</p> <p>・水蒸気や雨など以前やった内容からも関連していることを紐づけることができていた。</p>	<p>水は毎日当たり前にあるもので、それはいったい何だろう？と思うと、子どもたちの中でも、急に関心が湧き上がってきたんですね。</p> <p>水に色があるのか？というのも面白い視点ですね。水がお湯になるという変化も、雲や雨につながる問いかけはとても良かったと思います。</p>